

地域の中で、お互いが持ち味を発揮！

近隣の方々との出合いやいきがにつながった福祉施設

くまっこクラブは、地域の方々とのふれあいを大切に、障害児者と地域との共生社会を目指して活動しています。今回、新たな活動の拠点として、社北地区に引っ越すことになりました。そんなくまっこクラブと地域は、こんな風につながっていきました。

社北地区で…

くまっこクラブ

近隣の方々

Step 1.きっかけ

新しい場所への移転。
地域の方々に
少しでも早く
馴染みたい！
まずは近隣への
ごあいさつを！

社北地区（加茂河原）
空き家へ移転

空き家には
誰が
引っ越して
くるんだろ？

Step 2.つながり

あいさつが
きっかけで
交流が深まり、
会話が
弾み始めた。

かわいい
子どもたちと
関わってみたい。
自分が元気なうちには
応援したい。
いずれ自分も誰かに
お世話になるかも
しれないし…。

Step 3.現在

子どもたちと
一緒に畑作業を
スタート！
行事にも協力！

Step 4.これから

・役立つ情報や
交流の場を提供
していきたい。
・近所で協力できる
人を増やしたい。



災害への備えをきっかけにつながった地域と特別支援学校など5団体

清水南地区では、東日本大震災を受けて、災害発生時に地区内の福祉施設等と自治会がお互いに助け合える独自の仕組みづくりを、平成24年から行っています。福井市でもはじめての取り組みで、災害発生時には情報提供や人的・物的支援、高齢者や施設利用者の避難支援を行います。このような協定がどのように生まれたのかを紹介します。（取材協力：清水南 公民館、県立清水特別支援学校）

清水南地区で…

特別支援学校
など5団体

・（福）清水新生会
特別養護老人ホーム すみれ荘
・（一財）認知症高齢者医療
介護教育センター
・（公財）福井県健康管理協会
・（福）ふくい福祉事業団
若越ひかりの村
・県立清水特別支援学校

地元の方々

（清水南地区自治会連合会）

Step 1.きっかけ

学校や各施設も
綿密な対策を
とっているが、
万が一のときが
不安

東日本大震災発生！

地区での
防災対策が不安。
大昔には水害の経験も。
まずは学習会を
やってみよう。

Step 2.つながり

地元の方々から
の要望をもとに、
5団体と一緒に
協議を重ね
「協定」を締結！

学習会を契機に
特別支援学校などが
防災資源に
なることを知り、
5団体を含めて
連携できないかを
模索。

Step 3.現在

・お互いの存在を気に
かけるようになった。
・災害への意識とたがいの
安心感が高まった。

Step 4.これから

・たがいの距離を
縮めるために、
ふだんからの交流を！
・合同訓練も視野に
入れる。



障害のある方の文化・芸術活動発表と
県民の障害理解と認識を深めるために

「第15回福井県障害者 ハートフル文化祭」

日 時：平成26年12月6日（土）
～7日（日）

会 場：ショッピングシティ・ベル あじさいホール

内 容：作品展・ステージ発表・即売コーナーなど

問い合わせ：福井県障害者社会参加推進センター

TEL. 27-1632

FAX. 25-0267



音楽やダンスを通じて障害のある方と交流

「第36回ユニークダンス パーティー」

日 時：平成26年12月14日（日）13時～16時

会 場：市民福祉会館6階大ホール

内 容：車いすダンス、ヨサコイなど

問い合わせ：福井市ボランティア連絡協議会

TEL・FAX. 22-7604（山田様方）

障害のある方を対象とした

「パソコンサロン」

日 時：平成26年11月20日（木）、12月18日（木）
平成27年3月19日（木）

いずれも13時～16時 ※予約制（定員5名）

会 場：市社協 小会議室

内 容：パソコンの基本操作やインターネットの操作の
体験や指導、日頃のトラブルや困りごとの質問
など

申し込み・問い合わせ：福井市障害者生活支援センター

TEL. 27-0601



～地域にはたくさんの障害者、高齢者の方々が暮らされています。市社協は、今回の事例のような「つながり」のお手伝いをします～

〈問い合わせ〉 福井市障害者生活支援センター TEL. 27-0601